

子どもたちのこえ。

福祉の仕事をやりたいと思いました。なぜなら福祉産業の仕事は人を助ける仕事だからです。福祉の仕事はいろいろ大変だと思ったけど、やりがいや魅力が聞いて良かったです / いろんな資格を取得して必要とされる人材になる。人のために働き、自分が好きな職業に就きたい(安謝小)

人の言うことを全部きかないといけない、大変な仕事だけど給料が少ないと思っていたが高齢者のゆめをかかなる仕事、やりがいがある仕事にイメージがかわった。(首里中) / 最初は障害者の方に1日中つきまわりの仕事だと思っていたけど、玉城さんの話を聞いて、人のために何かをすることは素晴らしいことで、良い印象が変わった。(潮平中) / 福祉産業は暮らすために必要な産業だということがわかった / この福祉の仕事には子供が好き、観察するのが好き、人と遊びが好きの人が向いている言っていたので自分は2個くらい当てはまるので少し自信ができた(浦添小) / 頑張っているママ達のために応援し、オンラインも使って相談に乗っているということはすごいと思い尊敬しました。(松島中) / 最初はただお世話するだけだと思っていたけど、相手のことを考えたり前の生活を送りにくい人たちにふだんの暮らしを幸せにしていける仕事なのだからいいと思いました。(西崎中) / 最初はどんな仕事かあまりわからなかったけれど、話を聞いてどんな人でもどこかで関わっている仕事だし、今後日本にとってはとても大切な仕事なんだと思った。(読谷中) / 笑っている高齢者の方々を見て「人を幸せにする」、仕事なんだということが分かった。喜んでもらえることにとてもやりがいがありそう。(東風平中)

実施事例

仕事とスポーツは似ている、楽しむ、必要とされる、チームワーク

親泊 靖 氏

(社福) 那覇市社会福祉協議会  
那覇市立安謝小学校

親泊氏は小さな頃、シヨベルカーの運転手になりたいと思っていました。小中高から卓球をはじめ、いまでも愛好家、各世代毎に大会で優勝してきている超ベテランのスポーツマンです。親泊氏は、仕事に大切なことは、スポーツに似ていると考えています。

福祉の仕事に就いたのは、人の役に立つ仕事をしたかったから。

2階からおばあちゃんをおんぶして車に乗せるリフト付き福祉バスの仕事、看護師と3人で浴槽をベッドのすぐ近くに設置する在宅の老人宅向けの訪問入浴サービス、日常生活の介助をするホームヘルパーなど、在宅老人向けのサービスについて、様々な仕事を写真付きでわかりやすく解説しました。体力的には大変そうな仕事ですが、「人の役に立つ」という思いと、軽妙



な語り口から、子どもたちの笑い声の絶えない授業となりました。

さらに実際の利用料金や仕組み、どんな資格があるかなど具体的な話も交え、

子どもたちにもリアリティをもって伝えられました。

体力的には大変なこともあるけど、大事なのは楽しんで取り組むこと、必要とされる人材になれること、チームワークが大事なことです。

これら、仕事の大事なポイントが、全てスポーツや学校の勉強にも共通するものであることを伝えました。

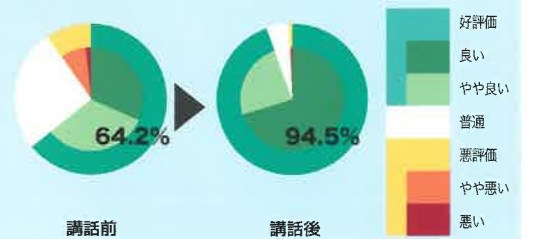


実施回数	¥2回
講師数	7名
講師	親泊靖・川平晃爾・玉城達也・萩原雄三・宮城達也・松永亜紀子・本永万希子(敬称略・50音順)
協力団体	(社福) 那覇市福祉協議会 / (社福) 糸満市福祉協議会

アンケート集計

福祉産業は、実際に講話を聞くことで、「普通」評価と「やや悪い」が激減し、講話前の「良い」評価31.9%が、講話後70.3%に倍増、「良い」と「やや良い」を合わせた好評価全体で、94.5%になりました。

コメントからは、講話前には「忙しそう」「大変そう」だった評価が、やりがいや楽しさが学べたことが伺えます。



体験ができない中でもさまざまな工夫、明るく楽しい福祉を演出。

子どもたちが笑顔になる、福祉の話。

もともと福祉産業は、地元の学校との結びつきが強く、これまでも講話や出前講座に取り組んでいます。今年度はコロナ禍で、これまで行われていたさまざまな体験の実施が困難でしたが、その代わりに各講師はさまざまな工夫を凝らし、これまでにない職業人講話を実現していました。

高齢者デイサービスを営む講師は、スマートフォンで自施設とビデオ通話をつなげ、子どもたちが利用者のお年寄りにインタビューするなどの取組を行いました。リアルタイムで見る施設の中で、利用者達が生き生きと楽しそうにしているのを見て、高齢者福祉の印象が大きく変わりました。

福祉産業は幅広く、高齢者、障がい者以外にも、保育や学童、人びとが安心して暮らすため



老人施設の老人にビデオ通話で質問をする子どもたち



モニタ越しに子どもたちに課題を与え、マイクで発表

の街づくりなどを行う地域福祉など、幅広い講師陣の講話によって、これまで想像もしていなかったさまざまな人がいて、それを支える仕事があることを、子ども達は学びました。

業界解説

福祉産業を知ろう!

業界解説シート



- いまのシゴト**
- 高齢化社会の中で福祉の重要性が高まる。
  - 待機児童や児童の貧困など、児童福祉も重要に。
  - 障がい者の社会参加が進む。
  - IT活用は遅れている。
  - 厳しい労働環境の改善が求められている。

- 未来のシゴト**
- ロボット技術やITの普及で大きく変わる可能性。
  - コミュニケーション力がより重要に。
  - 障がい者がより身近にいる社会に。
  - 外国人居住者の福祉も、より必要に。

**シゴトと勉強** 学校の勉強とシゴトはいろいろ関係しています。

国語	算数・数学	理科	社会	英語
福祉制度の文書理解する必要があります。	支援者の生活のお金の相談にのることも。	医療的な知識も必要です。	地域の文化知識が高齢者との会話に役立つことも。	今後、外国人への福祉の必要性も高まります。
美術・音楽	体育	コンピュータ	コミュニケーション	
美術や音楽は児童福祉に利用されます。	介護やリハビリで体力が必要です。	ITとロボット活用で業界の変革が必要。	高齢者やさまざまな価値観の人とコミュニケーションを取る必要があります。	

福祉産業は、「障がい者福祉」「高齢者福祉」「児童福祉」とその他に分けられます。「障がい者福祉」「高齢者福祉」では介護、リハビリ、就労支援など。近年では障がい者スポーツ指導員の取組みもあります。「児童福祉」は保育・学童、児童

養護施設、障がい児福祉、特別支援学校などが行われています。車椅子・義足・補聴器など福祉機器・器具の制作・販売も福祉です。自立支援施設ではノートや元受刑者の社会復帰を目指します。これらの取組を、市町村と社会福祉協議会が行っています。

令和2年度 沖縄県雇用政策課 未来の産業人材育成事業 2021.03 ver.1.0